



浄瑠璃寺の夏

飯田 泰啓 (相楽)

京都府最南端の木津川市東南部の当尾の里は、古くから奈良仏教の影響を受けた地域で、多くの寺院が建立されました。浄瑠璃寺は、宝池を中央にして、東に薬師仏をまつる三重塔、西に九体阿弥陀仏を安置する本堂からなっています。極楽浄土を現したものとされています。会津ハ一の歌に詠まれ、堀辰雄の『浄瑠璃寺の春』でも有名になりました。四季折々に美しい風情に満ちた静かな境内は、いつ訪れても心やすまるお寺です。

残暑お見舞い申し上げます

2012年 夏 京都府保険医協会 理事者・事務局一同

私は大病院麻酔科の講師として、長時間勤務、学会発表などのノルマ、宿直業務に疲れておりました。1999年にペインクリニックを開業し、これまでの過激な業務から解放されたある日、たまたま通りかかった小さな模型店のウィンドウに小さなヘリコプターが飾ってありました。突然、いつかはラジコン飛行機を飛ばしてみたいとの夢を思いだし、扉をあけたのがはじまりでした。その小さなヘリコプターはラジコンではなく、長いコードがついたりモコンでしたが、その店主と話が合い、まずはこれからと即購入しました。一度火がついたら後にはもどれません。次には大きな電動のラジコンのヘリコプターを購入しましたが、ホバリングも難しく、何度も破損、修理を繰り返して、はじめて納得のできたホバリングができたときは友人に撮ってもらった写真を家内に見せて、あきれられていました。その後、グローエンジンで飛ぶ飛行機やヘリコプターなどを作っては飛ばしていました。その間に技術革新はラジコンの世界にも浸透し、強力なモーターや軽くて長持ちのするリチウム電池、電波の混信を気にしないですむ2.4GHzの送受信機などが発売され、気がつけば翼長2mを超える飛行機などで自宅は足の踏み場がない状態となりました。

2010年11月に血管肉腫と診断され、手術、放射線治療、化学療法を受け、医院も休院し、一時はラジコン趣味もあきらめておりました。今は週に2〜3回通院してインターロイキン、インターフェロンの局注と点滴、定期的な化学療法を継続していますが、体調の良いときは気のあったラジコン仲間たちと大空に悠然と飛ぶ飛行機を愛でながら楽しんでいきます。気分も爽快となり、ストレス解消にもなっています。自分の思い通りに飛ばせるようになるまではトレーニングが必要ですが、面白いものです。ラジコン趣味はじめてみられませんか? You Tube(mohsawal)を検索してみてください。



私のすすめるラジコン趣味

大澤 正巳 (西陣)

京都府保険医協会 夏特集

特集I 韓国医療視察を終えて(2〜3面)	特集II 木津川と道連れに(4〜6面)	日本ローカル鉄道の旅12(6面)
-------------------------	------------------------	------------------

ご用命はアミスまで

- ◆医師賠償責任保険
- ◆休業補償制度 (所得補償、傷害疾病保険)
- ◆積立傷害保険
- ◆自動車保険・火災保険

上記事業は(有)アミスが取扱っています。
☎075-212-0303

特集 I

韓国医療視察を終えて



垣田(司会) 協会は韓国医療視察を5月3日から6日にかけて行いました。韓国の公的医療保険が日本の制度と非常に似ていることや、韓国がアメリカとFTA(自由貿易協定)を締結し、3月15日から発効して

いることから、日本がTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)に参加した場合の医療分野への影響を探るべく実施したものです。旅行中の楽しい話も含めて、感想などを出し合っています。

9年、それまで韓国も日本と同じように保険組合が乱立していたところを、一挙に国民健康保険管理公団という組織に一元統合されています。また、IT化や介護保険導入も一挙に進められています。

日本の厚労省と韓国の保健省とは人的交流を含め非常に密接で、お互いの国で新しい制度を試し、自分の国の参考にしていくといった関係にあるといわれています。

感想を言うと、とにかく先生方はよくしゃべり、よく食べるのでびっくりしました(笑)。私も体力には自信のあるほうでしたが、口には出さな

FTAの影響視察を目的に



関 浩 理事長

ら米国のFTAに警鐘を鳴らしてきた韓国の健康権実現のための保健医療団体連合のウ・ソッキョン氏

の会談など、単なる訪問だけではない突っ込んだ話し合いを現地の責任ある方々とできたことは、意義深いものだったと思います。視察の主な目的は、韓国の医療情勢、とくに韓米FTAのもとでの医療分野の状況を調査することでした。私の感触として、TPPは単に物、関税の自由化の話だけではなく、その国の政策を、我々の関心からい

は、医療の面でも古くから民主化運動を担ってきた人たちと、それ以後の人たちの世代交代が進んでいることも感じました。また印象的だったのは、IFEZ(仁川経済自由区域)の広さと危うさです。求める労働者側の支援を行っていました。いろいろな情報を集めると、韓国でも同様の被害が出ているということがわかりました。それ

では、医療の面でも古くから民主化運動を担ってきた人たちと、それ以後の人たちの世代交代が進んでいることも感じました。また印象的だったのは、IFEZ(仁川経済自由区域)の広さと危うさです。求める労働者側の支援を行っていました。いろいろな情報を集めると、韓国でも同様の被害が出ているということがわかりました。それ

を安く受けられるというところに来る患者さんはいらぬかもしれません。

いた時期です。仁川空港到着後、すぐにグリーン病院、翌日にはIFEZ(仁川経済自由区域)、そしてイナ大学付属病院見学、及び国際医療センター長との懇談、3日目は九里グリーン病院で公害病の医療に携わってこられたパク先生からお話を聞きました。韓国の延世大学教授の武貞先生からの韓国と北朝鮮との関係についてのレクチャーや、早くか

る可能性があるので、韓国の先生方との話し合いの中で実感したところでは、今後の課題としては、これらのことを会員の方々にどう正確にお知らせしていくかということだと思います。

河本 実は私は海外に出るのは今回が初めてでした。ソウルまでは飛行機で1時間45分と短く、天気もよかったです。旅行としてはとても快適でした。旅程を見るとゆったりしたものかと思いましたが、実際にはとてもハードで内容は濃かったです。印象的だったのは、FTAは社会制度そのものに関わる問題でもあると痛感

点が多く、TPPの問題点がよくわかりました。例えばTPPと医療は関係がないという理解が一般的だと思えますが、現実

は、実際のところを確認しているということがわかって、日本同様韓国でも大変



河本 一成 氏 (宇治久世)

野々村光生先生(京都桂病院副院長)と議論し、ある程度理解したつもりで、ウ先生の話を聞き出したのですが、それでも衝撃的なことが多く、TPPの問題

東レ)のプラントが1960年代に韓国に輸出され、これが二硫化炭素中毒を引き起こす原因となっていました。約1000人もの中毒者が出たそうです。韓国では、被害者を救済する運動と民主化闘争が重なって

は、実際のところを確認しているということがわかって、日本同様韓国でも大変

医療と密接にかかわるTPP

IFEZの広さと危うさ

同じ課題を抱える韓国医療従事者の労働条件

相互に影響しあう日韓の制度



吉中 丈志 氏 (中京西部)

時ソウル大学の医学生も参加しており、グリーン病院のヤン院長もその一人です。今回の視察

の反応が鈍かったので、最初はこちらの受け止めと落差があるかと思いましたが、



松本 隆浩 氏 (日本医療労働組合連合会中央執行委員長)

が、1日目に訪問した病院ではFTAに対する韓国の先生たち

たことです。つまり政府が自分の国の政策を決めることができなくなるといことです。FTA、TPPは、ここが一番の問題だと思えます。ツアー中に私は、同室の野々村光生先生(京都桂病院副院長)と議論し、ある程度理解したつもりで、ウ先生のお話を聞き出したのですが、それでも衝撃的なことが多く、TPPの問題

では、医療の面でも古くから民主化運動を担ってきた人たちと、それ以後の人たちの世代交代が進んでいることも感じました。また印象的だったのは、IFEZ(仁川経済自由区域)の広さと危うさです。求める労働者側の支援を行っていました。いろいろな情報を集めると、韓国でも同様の被害が出ているということがわかりました。それ

を安く受けられるというところに来る患者さんはいらぬかもしれません。

特集II 地域紹介 シリーズ6

相楽 木津川と道連れに



地域紹介シリーズの第6回目は「相楽」。相楽医師会の藤木新治氏(精華)・山本ゆき子氏(同)・飯田泰啓氏(木津)・柳澤衛氏(和束)・伊左治友子氏(笠置)、吉村陽協理理事(加茂)に相楽の地域医療の移り変わり

第一部

「母なる川」木津川と相楽地方

中津川 本日の主題は「相楽の移り変わり」です。地域から高い文化を持った人たちが古くから相楽へ入ってきた歴史がありま



中津川 敬朗氏 元山城町教育委員会教育長 城南郷土史研究会代表

少し南です。その前の飛鳥はさらに南です。当時は木津川を通してたくさんの人と物が都へ運ばれ、また、木津川を通ってたくさん

人とお物が出て行きました。川だけでなく道についても同じことがいえます。都から北陸へ行くには、相楽を

皇らが訪れています。相楽は京都と奈良を結ぶ道となりました。たとえ

い、「去状」を受け取っています。8年後に解体しましたが、惣村という住民による自治を行いました。

い、この地で起った山城国一揆 有名な山城国一揆が1485(文明17)年、南山城

い、「去状」を受け取っています。8年後に解体しましたが、惣村という住民による自治を行いました。

い、「去状」を受け取っています。8年後に解体しましたが、惣村という住民による自治を行いました。

平城京 恭仁(京時代)が残したもの

恭仁(京)の宮城を発掘して調べてみますと、大きさは平城宮の4分の1でした。

京(貴族)と南都(寺)を結び

やがて都は長岡京から京に移ります。京が中心になることで、相楽は救われた

この地で起った山城国一揆

有名な山城国一揆が1485(文明17)年、南山城の久世、綴喜、相楽三郡で

水運業者の活躍

江戸時代、木津川には村々に浜があり、そこを拠点に水運業が盛んでした。

木津川は相楽地域にとって「母なる川」の役割を果してきたのです。相楽の人たちは1500年、2000年前から木津川から

5年間です。それでも宮をきちんとつくっていきま

に、大仏殿の造営に力を尽しました。相楽は奈良の都の入口

弥勒信仰の聖地になりました。都から出ていく役人たちにと

て、神に供えた水が入った容器の中にその灰を

相楽の地元業者が権利を持つ船が100艘ほどあり、その半分は笠置の舟だ

た。この領地は春日神社の領地になり、さらに興福寺の領地となりました。

相楽の人たちは生業の激しい競争をしてきた一方、それは深い祈りの心もあ

吉村(司会) 相楽は奈良時代までは奈良の北の出入り口、平安、鎌倉時代



伊左治 友子氏

地域は藤堂藩、柳生藩の領地、禁裏御領とさまざまでしたが、村々は領主の違

夏

気持のはためくこと

昔も今も

そう

20歳の時も87歳になっても

夜に流れ

昼はとどまり

なすすべなく

立っているのは

昔も今も

谷口 謙(北丹)

夏が始まり

空がうすく晴れわたる

白い雲にばかされ

何となく天は鮮やかで

青い緑の

数枚の葉が重なり

音もなく

たしかな位置を占めている

東北地方乗りのこしローカル線 完乗の旅

日本ローカル鉄道の旅 その12

北小路 博央(北)



国鉄時代、ローカル線のメッカは北海道であった。日本一の赤字線で有名な美幸線(美深〜仁宇布21・2km)、オホーツク海岸を走る興浜北線(浜頓別〜北見枝幸30・4km)、興浜南線(興部〜雄武19・9km)、天北線(音威子府〜南稚内148・9km)など鉄ちやん流涎のローカル線を含め

第1日

一行は例によってつれあいの「鉄子さん」と乗り鉄の権化甥っ子のS君、好天つき当りの頭端駅で、ここを喜びながら、東海道・東

(5面よりつづき)
相楽の医療問題の今後
吉村 相楽地方の今後の医療についてお聞きしたいと思ひます。

藤木 国は在院日数を減らす一方で、在宅療養のネットワークづくりを推進しています。そのため、重症にもかかわらず在宅に戻る方もおられ、われわれも協力体制をとって対応してはいますが、なかなか24時間対応には困難があります。国の方針で、できるだけ24時間態勢をとるよう求め

られて在宅療養支援診療所をつくっているわけですが、それに応じるとその診療所名がインターネットで公表されます。それを見た患者さんの中には、その診療所はいつでも当然診療に

飯田 国の制度として成り立たない。経営が成り立たないようになってしまうので、住宅を拒否せざるを得ない状況です。

吉村 私10年前に30年ぶりに加茂町に戻って開業しました。日本の医療制度からすると当然のことかも知れませんが、有床診療所が一つしかないということに驚かされました。それ

柳澤 府北部ではまだ有床診療所はありません。北部と南部との違いはそこだと思います。笠置や和東は田舎だといいますが、車で20分走れば病院に行ける

吉村 先ほどもいわれましたが、訪問診療、訪問介護をする際でも、何軒かまとめて行かなければ、できないようなへき地の患者さんもおられるわけです。だから有床診療所という形でもなく、地域で気軽に運営できて、われわれもさほど苦労せずに診療できるシステムをつくることはできないものではないでしょうか。

伊左治 急変しても対応できないような施設をつくるよりは、初めから30分かけて公立山城病院に入院する方がいように思いますが、だから、2、3日程度入院ですむような患者さんも含めて例えば山城病院が受け入れてくれるよう、私たちがバックアップしていく方が、新しい施設をつ

吉村 この地域が、京都、奈良、大阪、三重に囲まれてどういった位置にあるのか、同じ相楽といっても東と西ではまったく違う状況であり、今後の医療を考える上で、地域の病院をバックアップしていく重要性など課題がはつきりしてきたように思います。本日はありがとうございました。

吉村 それは医師会としてもバックアップしていかなければいけないと思ひます。

バックになる。本来はここから十和田湖畔を経て青森までつなぐという壮大な計画があったらしい(終着駅が頭端駅のローカル線は、どれもどこかへつなぐ筈だったという悲運を背負っている)。大館の二つ手前の大滝温泉は鄙びた温泉で大きな旅館に宿泊客は我々3人だけであった。

第2日

大滝温泉→大館→秋田とロングシートを乗り継いで羽後本荘で『由利高原鉄道』の社長さんからお話をうかがうことができた。国

道(羽後本荘→矢島)第三セクターに乗りかえる。「鳥海山ろく線」の名にしては雨で鳥海山は見えず残念、数日前のお化け台風のせいか沿線の電柱が傾いているのにびっくり。23km・40分の車内は中々の雰囲気、吊革に経営をバックアップする企業や個人名がはめこんである。往復キップに何故か「宇宙戦艦ヤマト」のイラストが…。終着

この夜は酒田駅前のビジネスホテルで一泊。

山形に戻って赤湯まで山形新幹線を利用する。30km・20分余に730円の特急券は痛い、この間をつなぐ普通列車が極端に少ないのだ。(新庄→福島間はミニ新幹線で在来線も1435mmの線路を共有して走っている)JRさんのもうけどころか。

この夜は磐梯熱海温泉に一泊、妙にも静かな黒いジャージの男達の集団が同宿で「何の団体ですか」ときいたら小さな声で「A県警です…」

東北ローカル線完乗3線2鉄道に加えて北関東1線1鉄道を踏破、例によって小忙しい旅を終え、乗り残したローカル線は15、全線完乗はいよいよ目前となった。えっ、ご期待。



ド派手な市松模様の真岡鉄道



鳥山線のシンボルは七福神

は東北大震災の爪あとが痛々しい。水戸線下館駅から「真岡鉄道」(下館→茂木41・9km、三セク)に乗る。真岡鉄道の車輜はド派手な市松模様のデザイン、ホームの桜が満開、沿線にはすばらしい桜並木のトンネルがあつて思わぬ花見が楽しめた。茂木駅からチャーターしておいたタクシーで峠道を走り抜けること30分、この旅最後のローカル



残雪の由利高原鉄道 清楚な秋田美人の風情



山形鉄道のスウィング ガールズ

3日ぶりの好天で車窓に鳥海山が美しい。酒田→余目→新庄と最上川と月山の雪景色を愛でながら山形へ。ここからローカル線に乗る。車窓はサクランボ畑一色だが、車中は都市近郊線のもの。

第4日

郡山から最後の東北未乗ローカル線磐越東線(郡山→いわき85・6km)に乗って「いわき」へ、この辺り